

2021年4月19日

(報道発表資料)

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社  
株式会社ゼンリン

## エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社と株式会社ゼンリンの 業務提携について

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役：黒田 吉広、以下、「NTT インフラネット」）と、株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：高山 善司、以下「ゼンリン」）は、IoT/AI 社会におけるデジタルツイン※1 の位置基点となる「高度地理空間情報データベース」を効率的に共同整備するため、業務提携契約を締結致しました。

### 記

#### 1. 業務提携の背景

ICT が急速に発展する今日、地図は印刷物やカーナビゲーションといった人間が見るものにとどまらず、コンピュータや AI が現実世界を理解するための情報基盤として活用されるなど、用途が大きく広がりつつあります。更に、スマートシティにおける交通情報の分析など、将来予測による社会課題の解決においては現実世界をサイバー空間上に再現するデジタルツイン実現への期待が高まっており、このデジタルツインを実現するためには、より正確な位置精度とそこに何があるのかなどの意味情報※2 を持つ空間データが必要となります。

そこで、デジタルツインの高度化に向けて NTT が構想する「4D デジタル基盤™」に資する「高度地理空間情報データベース」の実現のため、ゼンリンは NTT と 2020 年 3 月 26 日に資本業務提携を締結しました。※3

この資本業務提携に基づき、NTT インフラネットとゼンリンは、両社の保有する地図情報を持ち寄り「高度地理空間情報データベース」を共同で整備していくことが、両社のビジネスの拡大につながると判断し、この度、業務提携契約の締結に至りました。

#### 2. 業務提携の概要

NTT インフラネットは、業界トップクラスの広いカバレッジ（日本国土 38 万 km<sup>2</sup> のうち約 9 割の 34 万 km<sup>2</sup> のエリア）と、公共測量作業規程に則した 1/2,500 縮尺の位置精度、地上解像度 25cm（東名阪中心エリアについては 16cm）を誇る「GEOSPACE 航空写真」を、更にこの航空写真を活用して「GEOSPACE 電子地図」を整備しております。また、この航空写真は撮影時期を最適にすることで雲や冠雪の影響を受けず、都市計画や地域開発、農林地管理の基礎調査、防災・減災対策などに幅広くご活用頂いています。

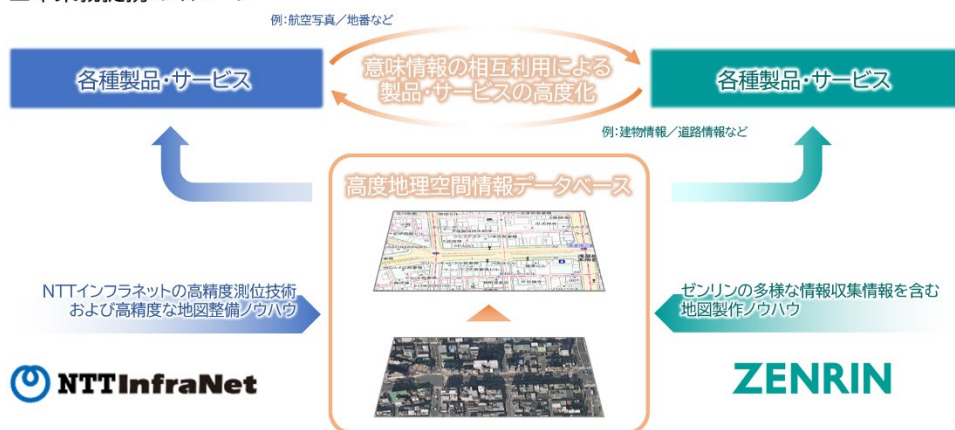
一方、ゼンリンは「現実世界をライブラリー化する」をミッションに掲げ、日本全国 1,741 市区町村において、公共測量成果の活用や独自の調査手法により、各種情報を網羅的かつ迅速に収集し、地図データベースを継続して更新しております。この地図データは住宅地図やカーナビゲーション、インターネット地図サービスなどの製品を通じて、さまざまな分野・用途でご活用頂いています。

この度、NTT インフラネットとゼンリンの保有する情報アセットと地図整備ノウハウを融合することにより、全国の地図情報を高精度化し、豊富な意味情報を持つ「高度地理空間情報データベース」を共同で整備して参

ります。これにより、両社が独自に整備・管理する意味情報の強化を図るとともに、相互に利用し、各種サービス・製品を高度化することができます。

具体的には、ゼンリンが保有する道路ネットワークや交通規制情報、到着地点情報、建物種別、マーケティングコンテンツなどをNTT インフラネットを活用することが可能となるほか、NTT インフラネットが保有する航空写真や地番情報、施設情報をゼンリンが提供する建設・不動産業界向けのサービスや、マーケティング分野での活用が可能となり、既存サービスの高度化や新規サービスの創造によりビジネスの拡大を目指していきます。

### ■本業務提携のイメージ



さらに、両社が共同で整備する「高度地理空間情報データベース」を、NTT グループが推進する「4D デジタル基盤™」に提供することで、デジタルツインをより精緻にリアルタイム処理することが可能となり、複雑な街全体の緻密な予測・最適制御を実現し、マーケティングや、モビリティ、スマートシティの高度化に貢献して参ります。

尚、本業務提携では、まず 2D 地図データベースの整備から着手し、続けて 3D 地図データベースの共同整備を進めて参ります。

※1 デジタルツイン…現実世界をサイバー空間上に再現し、さまざまなデータを取り込むことで、現実世界の事象をシミュレーションする環境・技術

※2 意味情報…現実世界を構成する地物（建物や道路など）に付加した、建物情報や店舗情報、道路規制情報など。

※3 高度地理空間情報データベース構築のため 2020 年 3 月 26 日にゼンリンと NTT は資本業務提携を締結

(NTT リリース : <https://www.ntt.co.jp/news2020/2003/200326b.html>)

(ゼンリンリリース : <https://www.zenrin.co.jp/information/public/200326.html>)

### 3. 会社概要

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社

本社 : 東京都中央区東日本橋一丁目 8 番 1 号

代表者 : 黒田 吉広

設立 : 1999 年 4 月

事業内容 :

NTT グループが保有する地下インフラ設備に関する業務を一元的に実施するとともに、一般市場における社会インフラの充実・高度化を通じ、電線類の地中化事業や他のライフライン企業様との共同施工を通じた社会貢献の推進に取り組んでいます。

老朽化が進む社会インフラへの関心への高まりつつある中、情報通信インフラ設備のマネジメントを通じて培った技術・経験を社会インフラ分野にも活かすべく「Smart Infra 事業」の推進を目指しています。

株式会社ゼンリン

本社 : 福岡県北九州市戸畑区中原新町 3 番 1 号

代表者 : 代表取締役社長 高山善司

設立 : 1961 年 4 月

事業内容 :

『知・時空間情報』の基盤となる各種情報を収集、管理し、住宅地図帳などの各種地図、地図データベース、コンテンツとして提供することで、社会課題の解決やビジネスの支援に取り組んでいます。また、生活を支える様々な技術に対応するデータベースを構築することにより、人びとの生活をより豊かにすることを目指します。

=各社問合せ先=

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社 Smart Infra 推進部 プラットフォーム戦略担当

千葉・水津

Tel : 03-5829-5294

株式会社ゼンリン 総合企画室 広報担当

立花・伊藤

Tel : 03-5295-9000